平成 23 年度 市政運営会議 議事概要

日時	平成 23 年 11 月 11 日 (金) 11:10～11:40
議題	福岡市健康づくりセンターの機能再構築及び健康づくり財団のあり方について
出席者	高島市長、山崎副市長、渡邊副市長、大野副市長、総務企画局長、財政局長、保健福祉局長、理事 他
決定事項	<p>○健康づくりセンター機能再構築の概要 「生活習慣病を主体に、一次予防から三次予防までを包含する総合的な健康づくりのサポート施設」として機能再構築する。</p> <p>○新・健康づくりセンターの運営及び健康づくり財団のあり方について 機能再構築後の新・健康づくりセンターの運営については、平成 25 年 4 月の稼動開始に向け、幅広く指定管理者を公募する。 健康づくり財団については、今後解散に向け、財団側と必要な協議を進める。</p> <p>○財団の指定管理期間の延長(1年間)について 現在の財団の指定管理期間は H21.4.1～H24.3.31 となっており、平成 25 年度からの新センター運営開始に向け準備を進める中、平成 24 年度については1年間のみ現在の健康づくり財団を引き続き非公募により指定管理者とすることが、健康づくりにおける市民サービスの確保及び効率性の観点等から妥当である。</p>
主な意見	<p>○情報は地域の医療機関にあるので、地域の医療機関との連携策をどうやっていくのが重要。</p> <p>○これまで課題とされてきた健康づくりセンターの機能再構築及び第 2 次外郭団体改革実行計画の考え方に沿った健康づくり財団のあり方の抜本的な見直しについて、着実な進捗を図っていただきたい。</p> <p>○今回の機能再構築等による効果が十分に現れるよう、機能再構築以降の検証をしっかりと行っていただきたい。</p> <p>○今回の新・健康づくりセンターの機能再構築を契機として、特定健診・保健指導、各種がん検診及び健康づくり推進事業など健康増進対策全般に関する施策展開のあり方や方向性について、区保健福祉センターや民間事</p>

業者等との役割分担及び費用対効果などの観点から、全体的な整理を進めていただきたい。

○がん検診については、一部を除き国費の助成がなく、事業費の大半を市の一般財源で負担していることから、今後の受診率の向上に伴い、市費負担額の増嵩につながることを予想されるため、今後の事業実施においては、検診費用に係る自己負担のあり方及び効果的かつ効率的な実施方法について、十分にご検討いただきたい。

○新たな取り組みとなる生活習慣病の重症化予防(三次予防)の実施にあたっては、医療費の適正化など、費用対効果の観点から十分な検証を行っていただきたい。